



ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和6年(2024年)度10月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

教職員研修のようす

8月29日(木)の放課後に、教職員人権研修を行いました。豊中市人権教育推進

委員協議会事務局長の西田益久先生を講師に招き、「出会いはお互いを幸せにする一子

どもたち・同僚に支えられて一」をテーマに講演いただきました。西田先生ご自身が、

能勢町や豊中市の小学校現場で勤務している中で出会った子どもたちの話を、たくさん

紹介していただきました。例えば、西田先生が3年生の子どもたちに、まど・みちおさん

の「ぞうさん」の歌や詩の授業をしたときのこと。ぞうさんの詩は、「ぞうさん、ぞうさ

ん、お鼻が長いのね。」と悪口を言われた象さんが、「そうよ。」と象である自分に誇りをも

って答えている様子を描いているそうです。この授業をしているとき、それまで手を挙げ

たことのなかった子が手を挙げて発表をしたそうです。西田先生の、子どもは一人ひとり

違って、それぞれにいいところがあるんだよ、というメッセージが、その子の心に届

いたのではないのでしょうか。西田先生の熱意や情熱、子どもたちへのまなざしから、子ど

もの心の動きをとらえる感性や、子どもと向き合う姿勢を学ぶ研修となりました。

8月30日(金)の放課後には、十五中校区連携夏季全体会がありました。第十五中学校、

熊野田小学校、東豊台小学校と、本校による合同の研修会です。会では、5つの分科会

に分かれて情報交換、意見交流を行いました。例えば、生活指導について交流した分科会

では、中学校では、小学校のように異学年交流をしていないので、小学校のように学年

をまたいだ取り組みができないか考えてみたい、といった意見が出されていました。豊中市

では、すべての中学校区で小中一貫教育を進めています。昨年度開校した庄内さくら

学園は、施設一体型小中一貫の義務教育学校です。庄内さくら学園のように施設一体型

ではない、本校のように小学校と中学校が離れている中学校区においても、小中一貫

教育を進めることとなっています。ねらいは、中学校区で目指す子ども像を共有し、9年間を見通したカリキュラムを作ることによって、教育の一層の充実を図ることで、今回5回目となった十五中校区連携夏季全体会は、小中一貫教育を進めることにつながっていく取組みだと言えます。会の最後に、第十五中学校の校長先生が「できるところから進めていきたい。」と話していました。少しずつでも、中学校区の先生が一緒に考えたり、学んだりする機会を大切にしていきたいです。

第2回学校運営協議会について

学校運営協議会は傍聴が可能です。傍聴は事前申し込み制となりますので、希望する場合は、9月30日（月）までに校長あてお知らせください。

第2回学校運営協議会

- 日時 10月9日（水）18時30分～19時30分
- 場所 北館4階多目的室
- 内容
 - ・全国学力学習状況調査結果の報告
 - ・地域、保護者、学校の協働による取組みにかかる熟議

運動会の観覧ゾーンについて

今年度の運動会では、競技、演技をしている学年の保護者の皆様が優先的に観覧することができ、観覧ゾーンを本部テントの脇に設けます。皆様が気持ちよく観覧いただけるよう、観覧ゾーンの運用にあたっては、移動や入替え、観覧マナー等につきまして、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

<連絡やお願い>

・小学校スクールカウンセラー福嶋さんの次回派遣日は10月8日（火）です。面談希望がありましたら担任あてお申し出ください。

5年生のはっぴについて

例年、5年生が運動会の団体演技で着用しているはっぴについて、これまで保護者負担費から支出して購入していましたが、運動会で着用した後、持ち帰って活用する場面がないことから、保護者負担費からではなく、学校配当予算からの支出を検討していたところ、PTAから寄贈のお申し出をいただきました。ありがとうございます。アイロンがけが不要でしわになりにくく、動きやすい素材のものを選んで購入することにしました。大切に長く使っていきたくと考えています。

PTA運営だより第1号にも載せていただいているところですが、はっぴの他、今年度は、プール清掃を業者に発注する際の役務費等についても、PTAからの寄付で賄っています。ありがとうございます。ところで、豊中市において、今年4月に学校への寄付にかかるときの基準が策定されました。学校教育活動を行うにあたって最低限必要なものについては、寄付ではなく公費で負担すべき、という内容です。この基準を踏まえ、今後、寄付の在り方について整理していきたくと考えています。